

コンサルティングサービスと料金

2024年11月1日

分野	コース番号	BCP/BCM/SMSコンサルティングコース概要	税抜き料金 (単位:万円)
BCP/BCM	1	中小企業を対象としたBCP地震津波の策定 ❶ 従業員数が100人以下の企業が対象です。BCP策定の際には、ハザードの特定を含む現地調査、担当者との会議を複数回行います。BCPはワード文書とPDFで提供します。	30
	2	BCP地震津波の策定(ライフラインが破壊された震度7とライフラインを利用できる震度6弱の状況を含む) ❷ BCPを策定していない組織又はライフライン崩壊時にどのような対応で事業を復旧するか悩んでいる組織をサポートします。BCP策定の際には、ハザードの特定を含む現地調査、担当者との会議を複数回行います。	100
	3	BCP地震津波の訓練(各対策班の個別訓練と火災・避難・通報などを含む総合訓練:総合訓練は業種によって消防法規程の訓練に該当します) ❸ BCPは策定しているが、今まで訓練を行ったことがない組織又は訓練に多大な時間を割くことができない組織をサポートします。限られた時間(30分など)で訓練をする方法、効果的な訓練を専門家と一緒にを行い、組織的にBCPを運用することができるようになります。BCP自体に問題点があればその改善策を提供します。	50
	4	BCP地震津波の監査(BCP文書・訓練記録・現地調査など) ❹ BCPは策定したが地震津波が発生した時にBCPが役に立つか不安な組織をサポートします。専門家が現地で監査を行い策定されたBCPの問題点を明確にして改善策を提供します。	50
	5	大学・教育研究機関のBCP地震津波の監査(BCP文書・訓練記録・研究室の災害対応) ❺ 大学等は人命確保とともに教育研究の早期再開がBCPの目的となります。そのため研究室(教員・研究者)の災害時の対応と被害軽減措置は重要課題であり、これらについて現状を評価して改善策を提供します。	50
	6	BCP地震津波以外の自然災害のBCP策定と訓練(猛烈な台風・大火災・大洪水のなかから1事象) ❻ 気候変動で猛烈な台風や大洪水の多発が予測されています。専門家が、これら災害による被害を最小限にするとともに早期の事業再開を確保するためのBCPを策定します。このBCPに基づいた訓練の実施をサポートし、問題点が生じた場合には改善策を取り入れてBCPをアップデートします。	100
	7	自然災害以外のBCPの策定(従業員の死傷事故・教育研究中の死傷事故) ❼ 重大事故が発生した時の対応を準備していない組織又は準備はしているがその対策に実効性があるか不安のある組織をサポートします。本コースによって、組織は迅速な事故対応と被害軽減及び事故再発防止対策を行えるようになります。組織の環境安全衛生担当者には、人身事故発生数を削減するための事故防止対策の講習も提供します。	100
	8	BCP地震津波の策定、訓練、監査を含んだBCMの構築/実装 ❽ コース番号2から4を、組織の規模によって異なりますがおおむね1年間で提供します。大学・教育研究機関においては番号2・3・5を提供することになります。	200
	9	BCMの維持と更新 ❾ コース番号8又はすでにBCMを構築している組織が対象です。専門家が3年間、組織のBCMが機能できる状況であるかを定期的(年2回)に検査し、改善が必要な場合はその改善策を提供して常にアップデートされた状況にします。本コースはBCMに関する講習を含んでいます。	75/年
経営戦略	10	大学・教育研究機関の重大リスクの可視化とそのリスク軽減策でコントロールするシステムの構築/実装 ❿ 大学等のリスク対応についてどこから手を付けたらよいか迷っている又は効率的にリスクを軽減して事件・事故・事象の発生をコントロールしたい大学をサポートします。限られたリソースを重大リスクに優先的に配分するなど効率的な経営を行うことができます。本コースは大学のすべての重要リスクを洗い出すための組織の全面的な協力が必要とし、関係者との対面/リモート会議を複数回実施します。当該経営戦略構築までの期間は最低5か月を要します。	200
SMS	11	事故再発防止及び事故未然防止対策を含むSMSの構築/実装 ❶ 人身事故・労災など、大学を含む組織では多種多様な事故やヒヤリハットが発生しています。これらの事故の再発防止及び未然防止を行いたい組織をサポートします。専門家が実態を調査して問題点を可視化し、組織の安全管理ガイドラインの提案、事故防止ツールの導入、SMS及び安全文化の構築を行います。本コースは組織の現状と課題の調査分析を行うため組織の全面的な協力が必要とし、関係者との対面/リモート会議を複数回実施します。当該SMS構築までの期間は最低5か月を要します。DXを用いたSMSの構築は含まれていません。	150
事故分析	12	事故データの分析 ❷ お客様がエクセル/ワード文書で蓄積・保管した事故データを事故モデルを用いて分析し、事故発生の要因、事故の引き金となるエラーが多く発生するプロセスの可視化、データに基づく事故再発防止対策を提供します。事故データは、事故件数20件を最低の単位とします。	50
研修・講習	13	事故防止のための事故調査分析、報告書作成の研修 ❸ 科学的事故調査の概要、事故モデル、SMS、調査手法、インタビュー手法、分析、報告書作成、調査分析と報告書作成の実技を含む:研修時間4時間	50
	14	海と山で発生する事故防止の講習 ❹ 事故発生メカニズム、多重防護で事故を防止する手法、過去に実際に発生した事故を科学的手法で分析して得られた事故寄与要因と事故防止対策を提供します:講習時間90分(質疑応答含む)	15
	15	地震津波のBCM講習 ❺ BCMの概要とシステム構築、自社に影響を及ぼす危害を明らかにして各々対策を講じる方法、ライフラインが利用できる場合と破壊された場合の対応、訓練と監査の方法などを提供します:講習時間90分(質疑応答含む)	15
大学等からの研修・講習依頼	16	13~15のコースを大学・高専など教育機関が申し込む場合は、通常の謝金と同額で提供します。	
講演依頼	17	(1)BCMの基礎知識と南海トラフ地震と首都直下型地震に対応するBCM策定(講演時間45分:以下同じ) (2)BCM(BCP含む)を構築する手法とポイント (3)ダイビング事故の実態と事故防止の方法(理論と実践) (4)海・河川で発生した水難事故分析と事故未然防止の方法(理論と実践) (5)山での遭難事故分析と事故未然防止の方法(理論と実践) (6)船舶の海難事故分析と事故未然防止の方法(理論と実践) (7)大学で発生した実験室&野外活動の事故分析と事故未然防止の方法(理論と実践) (8)なぜ事故は繰り返すのか?理論と実践に基づく事故防止 (9)危機管理と安全管理の基礎と応用(理論と実践) (10)その他、危機管理と安全管理、BCM/BCPに関する講演	5から
執筆依頼	18	字数は2,000~3,000字 テーマはレジリエンス、BCP/BCM、安全、安全衛生管理、ヒューマンエラー、リスクなど	2から

重要事項(必ずご確認ください)

- ❶ BCP/BCMの料金は標準的な料金を示しています。組織の規模や組織構造の複雑さ、支店又は大学キャンパスなどの地理的分散状況によって異なります。
- ❷ 専門家によるお客様の事業所又は大学キャンパスへの出張旅費は、お客様の負担となります。
- ❸ お客様の組織に最も適したBCP/BCM/SMSの策定又は重大リスクの可視化とコントロールのため、専門家がお客様の危機管理と安全管理の現状をお聞きし現場を確認して調査分析を行います。組織の担当者との会議(リモート又は対面)を複数回実施しますが、その際には組織の全面的な協力をお願い致します。
- ❹ 研修・講習・講演については、対面で実施しますのでお客様に会場の準備(研修・講習会場の提供とWindowsパワーポイントでの研修・講習に必要な機器)と設定をお願いしています。
- ❺ 英語でのコンサルティング・研修・講習(文書及び説明)は別途料金が生じます。
- ❻ 個人情報保護は法に基づいて対応します。